

安心・安全な保育環境を考える市民座談会 ～第3期中野市保育所整備計画の策定に向けて～ 顛末	
日 時	令和7年8月23日（土）午前10時～午後0時05分
会 場	ソソラホール小ホール
出席者	【中野市民】 13名 【報道機関等】 北信ローカル社 【事務局（中野市子ども部）】 子ども部長、保育課長、課長補佐兼施設係長、保育係長、 公立保育所園長（6名）、保育係担当 <計>11名
配布資料	次第、第3期中野市保育所整備計画（素案）

【協議会内容】

1 開 会 (保育課長)	(略)
2 あいさつ (子ども部長) (松川保育園長)	(略)
3 説明 (保育課長補佐)	<p>資料「第3期中野市保育所整備計画（素案）」に基づき説明</p> <p><u>P 1</u></p> <p>平成19年11月に第1期中野市保育所整備計画を策定し、保育所の整備、民営化の推進等、国が定める保育指針等に基づいて、公立、民間の区別なく、安心安全な保育を実施してきた。</p> <p>少子化が進行するとともに、障がい児、医療的ケア児など支援が必要な児童に対する保育需要の高まりや令和8年度から開始することも誰でも通園制度といった新たな保育需要が生じている状況。</p> <p>こういったものに適切に対応していくために、公立保育所の役割を明確化した上で、公立・民間含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく目的で、第3期中野市保育所整備計画を策定するもの。</p> <p>計画期間は令和8年度から令和12年度の5か年とし、環境に大きな変化があった場合には、都度、計画の見直しを行うこととする。</p> <p><u>P 2・3</u></p> <p>整備計画の進捗状況として、平成19年度から令和2年度までの第1期計画において、みよし保育園の廃止、さくら保育園及び病児・病後児保育施設の新設、ひまわり保育園（旧西町保育園）</p>

及びみなみ保育園、ひらおか保育園の建て替えを実施し、令和3年度から令和7年度までの第2期計画において、長丘保育園の廃止、永田保育園と豊井保育園の統合（とよた保育園）、民設民営による平野・高丘保育園の建て替えを実施したものの。

中野市の人口等現状について、総人口及び就学前人口について、いずれも減少傾向が続いているが、核家族化、共働き世帯の増加等により保育所入所率については、増加傾向となっている。

P 4・5・6

公立保育所の児童数については、全公立保育所について令和6年度と令和7年度を比較した際に児童数が減少しており、松川保育園については、定員160名に対して、令和6年度の児童数は93名、令和7年度の児童数は74名となり、定員に対する入所率は令和7年度46.2%となっている。公立保育所全体でも定員に対する入所率は59.2%となっており、どの公立保育所においても受け入れは十分に可能な定員数となっている状況。

私立保育所等については、令和6年度と令和7年度を比較した際も児童数はほぼ横ばいの状態となっており、どの私立保育所等においても、ほぼ定員数通りの児童数となっており、児童数は安定している状況。

公立・私立各保育所等の入所児童の居住地区割合については、概ね各保育所等がある地区の居住者の割合が多く、自宅から近い、保護者の勤務地が近い、通勤経路、開所時間や延長保育時間等様々な理由により選ばれているものと思われる。

P 7

施設の状況について、松川保育園は建築年が昭和53年であり、現在、築46年となる。また、たかやしる保育園についても、建築年が平成13年度であり、現在、築23年となる。現在、この2つの園の老朽化が進んでいる状況。

とよた保育園は建築年が平成5年度であり、築31年となるが、永田保育園と豊井保育園の統合に当たり令和3年度に大規模改修を行っており、建物としては健全な状況。

なお、松川保育園及びひまわり保育園、ひらおか保育園については、備考欄に記載のとおり、園の敷地に一部借地がある状況となる。

P 8・9

現状に対する課題について、ここまでの説明の中でも触れさせていただいた内容から、松川保育園については検討が必要な状況である。

理由について、まず、園舎の築年数が46年となり、給排水設備や電気設備の老朽化により、故障や不具合が頻繁に発生している状況。施設の老朽化に伴い今後も修繕費が増加することが見込まれる状況。

また、駐車場の手狭ということで、他の公立保育所に比べて、駐車場の敷地が大変狭く、駐車場の台数がかなり少ない状況。

保護者の皆さんにはご不便の方をおかけしているが、隣接する建物もあり、拡幅は難しい状況。駐車場については、少しでも何かできることがないか、検討しているところ。

併せて、入園希望者の減少もあり、児童数は昨年度に比べて19人減少し、対定員率も46.2%となっている状況。松川保育園の入所児童の年齢別・居住地区割合では、5歳児（年長）の人数が24人となっており、来年3月に卒園すると児童数50人となり、来年度新規に入園する児童数が何人かにもよるが今年度と同様に12人程度ということであれば、来年度は60人前後の児童数となる状況。

このような状況を踏まえ、今後の方針として、適正規模・適正配置による保育所運営を行うため、松川保育園について令和12年度末を目標に廃止とする。なお、新規入園者及び中途入園者の受け入れについては、これまで通りとし、令和12年度まで行う予定。

P10

保育所の民営化については、民間活力の導入について引き続き検討するものとするが、今日現在、具体的な計画はなく、今後の状況等を踏まえ、必要に応じて検討するものとする。

P11・12

保育サービスの充実について、家族構成や就労形態の変化に伴い、多様化する保育需要に対応するため、延長保育や一時的保育、休日保育等必要な取り組みを行うものとする。

4 質疑応答 Q1（参加者）

松川保育園はあと耐用年数が5、6年しかないところで、ダメだという結論を出しているのだと思うが、建て替えが必要なのか実際に今一番困っている職員の生の声を聞きたい。一番危ないのは道路で、玄関から直接子どもが飛び出るのが一番怖いと思う。保育園の北側の自動車屋が空いているから、土地を市で借りて、玄関の向きを変えれば過ごしやすいのではないか。

それか建設組合事務所や職業訓練校の方へも移動してもらえば、有効に利用できるのではないか。

環境はすごくいいと思う。山も近い。ただ、大きな道路が目の

A 1 (松川保育園長)

前にあること、駐車場の都合があるけれども、木造でも 60 年持って古民家の人気があるような時代である。

地域の方に心配していただけることは、本当にありがたいと感じています。駐車場が狭く、危ないところは保護者の皆様にお知らせ等しながら安全に使えるように対応しています。

園舎は築 46 年となると、電気設備や施設の不具合が色々出てきていますが、保育課と相談して修繕対応等しています。

室内は現状では床も古く、0 歳児を安全に預かるのは難しいところもあり、今は 1 歳児から入所をお願いしています。

Q 2 (参加者)

いい保育園なんだなと思って感心している。施設的なことを言えば、躯体については定期的に必要な修繕対応等しているはずであるので、その他雨漏り対応を適切に実施さえしていけば長く利用可能であると思う。園児に対し、危険箇所があるのでここは注意してね、というのも教育だと思う。良い環境だけ整えればいい、というものではないと考える。地域で職員や園児等とすれ違った時にはあいさつもとてもよくそういう地域との関わりも大事にしたいため、今の場所(立地)も大事にしていきたい。建物が古いからというのではなく、もう少し頭を使っていただき、検討をお願いしたい。また、環境だけを整備するのではなく、大人の質も上げていかなければ、良い子供は育たないと思う。

A 2 (保育課長)

ご意見ありがとうございます。

先を見越して考えていっていただきたいというご意見もいただいた中で、今回ご説明をさせていただいた通り、今後、子供の人数が減ってくるというところで、適正な保育所の数ということを考えて、松川保育園につきましては廃園という状況となる。そういった中で、いただいたご意見や人口等はあくまでも推計であることから今後 2 年先、5 年先の状況を見たいうで判断する必要があるので考えています。また、先ほどお話いただきました、松川保育園の子ども達が生き生きとしているという部分について、今後も子ども達が楽しく過ごせる環境を維持していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

Q 3 (参加者)

今後はたかやしろ保育園についてどうするのか、という話にもなっていくのではないかと懸念している。たかやしろ保育園の今後の見通しについてお聞きしたい。平野保育園と高丘保育園の時も情報が入ってくるのが遅かったため、情報提供はこまめに対応をお願いしたい。また、現場で働く保育士さんもこの松川保育園の件については、気にしていると思うが、どんな声があるかということをお聞きしたい。その他、松川保育園はどうしようもないのかもしれないが、他の保育園については、補修に必要な予算というのは適切に要求のうえ、対応をお願いしたい。最後に、総合計画との絡みや今回示された整備計画(素案)について

意見があった場合に、修正いただける可能性はあるのか、お聞きしたい。

A 3 (保育課長)

たかやしろ保育園はどうなるのかについては、松川保育園の次に古いこともあり、修繕など必要なものは計画的に行っていきます。廃止は今のところ予定はありませんが、子どもの人数など、そういったところで今後検討していく部分かと思います。

高丘と平野保育園の民設民営の時に情報発信や説明するのが遅かったのではないかということから、今回の整備計画では早め早めに、ホームページに保育所等運営審議会や今回の説明会など、なるべく早く発信していきたいと考えております。

職員への周知につきましては、資料などの情報は職員に市民の皆様と同時に共有をしているところです。職員からの意見については、園長を通じて保育課の方へということをお願いをしているところではありますが、現在、提出はない状況です。

保育所の修繕対応については、水漏れ対応等必要な部分については、園と連絡を取りながら対応をしています。

また、第1期及び第2期の保育所整備計画についても、変更が必要であれば都度見直しをかけてきたところです。第3期の計画についても、来年度から5か年の計画となりますが、こちらの想定と変わってくる部分等も出てくると思いますので、その場合は見直しを行いたいと考えています。

A 3 (子ども部長)

今回は、保育所整備計画の話となりますが、現在策定中の総合計画とも整合性を図っていく形となります。市全体としてどのような施設を残し、修繕等していくのか、運営していくのか、というのは市全体の中の方針で検討しているところとなりますので、今回お示しさせていただいた保育所整備計画の素案については、そういった市全体の流れの中で、検討し、お示ししているもの、ということをご理解をお願いします。また、審議会等の情報についても、できるだけ早く公開して皆様からの意見をいただき、審議会の中でしっかり議論していくことが大事だと考えています。

要望 (参加者)

園長の方々への要望ということになるかと思うが、職員会議等で職場の方々も保育内容だけではなく施設整備に関する事等も議論できるようなそういう環境づくりをお願いしたい。

Q 4 (参加者)

4ページに未満児の保育需要が高まっているというような情報があるが、特に0歳児について、希望はあるが、公立保育所がもういっぱい入れない、ということで私立の保育所へ、ということがあるが、公立は定員に対して半分程度しか入っていないという状況の中で、入りたい人が入れないという原因は何か。また、松川保育園の0歳児について、施設が心配だから0歳児の受け入れはやりませんということだが、普通はどうやったら受け入れられる施設とできるか、ということを考えるべきだと思う

A 4 (保育課長)

が、どう考えるか。

1点目の0歳児で希望者が入れないのはなぜか、という部分ですが、旧平野、旧高丘、松川保育園については、0歳児の受け入れを行っていないのですが、施設面や設備面の理由によることとなります。旧平野・旧高丘保育園については、民設民営による建て替え後、0歳児の受け入れを行っており、0歳児の受け入れ体制は定員としても広がったと考えておりますし、小規模保育施設もあることから、中野市としての受け入れ体制は整ってきているというように考えています。

また、入りたい園に入れられない方がいるという部分についてですが、施設全体の定員とすれば余裕があったとしても特定の年齢のクラスについていっぱいになっている、という状況においてそのクラスに申込があった場合は、受け入れができていない、というのは事実となります。ただ、希望したところに受け入れができるように改善していくべきでないか、というご意見もいただいた中で、職員の配置により改善できる部分もあろうかと思えますので、全国的に保育士不足という状況ではありますが、継続して職員体制についても整えていけるよう考えていきたいと思えます。

Q 5 (参加者)

定員の見直しは検討してこなかったのでしょうか。定員に対して入園者が少なすぎるのであれば、定員を減らし、実情に合わせることで、国からくるお金が増えると思うのですが。市として交付税が少しでも多くもらえるよう工夫をお願いしたい。

A 5 (保育課長)

私立保育所の場合は、ご指摘のとおり、公定価格に定員が影響するのですが、公立保育所の場合は、定員が交付税の額の算定に影響しない仕組みとなっています。なお、交付税措置については、各種数値等適切に報告をしているところですので、よろしく申し上げます。

Q 6 (参加者)

松川保育園の廃止については、反対です。今松川については、世帯数が増えている地区でもあり、学校が近い、保育園が近いということ言われてきたところに、松川保育園が廃止というのが公表された。園児数について、少なければ少ないなりのメリットがあると思う。ただ、先に意見があったとおり、松川保育園については、正面道路が交通量も多く、交通事故の発生が心配であり、隣地も空いていることから借りる等して早急に保護者が安心して送迎できる環境としてほしいと考える。

A 6 (子ども部長)

駐車場で足りない部分は土地を借りたらいいではないかというご意見でしたが、今回、整備計画の素案の中で、松川保育園を廃止とするという方針をお示しした中で、そういった対応というのは難しい状況となります。先ほど、園長からも話がありましたが、職員の駐車場については旧西友の敷地を使用するなど工夫しており、保護者の皆さんにはご不便をおかけしては

- れども、安全に配慮しながら、これまで運営してきたわけです。安全確保という面では非常に気を使うところではありますので、別の方法も含めながら検討していきたい。
- Q 7 (参加者) 松川保育園に隣接する中高建設労働組合の駐車場は組合ではほとんど利用していないので、借りたらどうか。
- A 7 (保育課長) 中高建設労働組合の駐車場については、現在も利用させていただいているところです。また、イベント等がある場合については、中野地域職業訓練センターの駐車場についても一時的にお借りし、駐車場の確保に努めているところです。土地を購入したらどうか、というご意見については、令和 12 年度末をもって廃止という方針をお示しさせていただいた中で、現在は難しい状況です。
- Q 8 (参加者) それでは、廃止予定の令和 12 年度末までは駐車場の手狭、という部分については、保護者が我慢をしろということか。
- A 8 (保育課長) 先ほどご回答させていただいたとおり、中高建設労働組合や中野地域職業訓練センターの駐車場をお借りしたり、職員が旧西友の駐車場を使うことで、少しでも保護者の方が安心して利用できるような対応を行っている状況となります。
- 要望 (参加者) 廃止の方針であったとしても、少しでも保護者の方が安心して利用できる環境となるよう継続して検討いただきたい。
- 回答 (保育課長) 令和 12 年度末に廃止予定だから何も手を入れないということは一切なく、必要な修繕等を行っています。一例として、松川保育園については、和式便器が多く残っていましたので、昨年度全ての便器を洋式化するための改修工事を実施しました。また、今年度は熱中症対策のため、遊戯室へスポットクーラーの導入を行ったところです。
- 要望 (参加者) 必要な対応を行っていただき、ありがとうございます。ただ、施設のことだけでなく駐車場の関係についても、安全対策上必要なことだと思いますので、継続して検討をお願いします。
- 回答 (子ども部長) 松川保育園について、今まで長い間、駐車場の確保等様々な課題について、検討・対応を重ね、現在まで安心安全な保育所運営を実現してきたところです。本日いただいたご意見も参考にさせていただき、引き続き、安心安全な保育所運営を行っていただけるように努めてまいります。
- Q 9 (参加者) 国が真剣に取り組むべきところだと思うが、市として保育士の処遇改善への取り組みはどうか。
- A 9 (保育課長) 手当等も含めて給与面の改善について、取り組んでいるところとなります。また、残業抑制等働き方についても、園と連携しながら必要な取り組みを行っています。
- Q10 (参加者) 松川保育園の立地について、中野地区の北部をカバーする園としての位置付けだったと考えるがどうか。また、素案の 7 ページに記載の運営費の状況について、一般財源が約 94%という

	<p>記載があるが、全て税収で賄われているかのような印象を受けるので、交付税が主な財源という部分も説明した方がよいと思う。また、保育所について、適正配置という話をされたが、場所（立地）についてはとても重要な要素なので、今まで通っていた地区の方々はどのようなになるのか、という部分について丁寧な説明が必要と考えます。</p>
A10（保育課長）	<p>松川保育園を廃止するという方針を今回出させていただいた中で、保護者の方々からのご意見やパブリックコメントでのご意見で立地の部分について送迎対応等のご意見があるようでしたら検討していきたいと考えます。</p>
Q11（参加者）	<p>5年後に廃止する園で働く職員がどのように感じるのか、受け止めているのか、という部分について気になりますが、どうでしょうか。</p>
A11（松川保育園長）	<p>職員会等で園長からも現場の職員に説明をさせていただきましたが、5年後に廃止というのは残念ではありますが、通園する園児が少しでもこの園で楽しい思い出が作れるような保育園づくりをしていきたい、という思いを職員間で改めて共有したところ。本日、地域の方から、とてもいい保育園である、というお褒めの声をたくさんいただけたということはとても嬉しいことであり、本日の座談会について、園の職員にも共有したいと思えます。</p>
要望（参加者）	<p>園児のことを第一優先で考えていただきたい。</p>
Q12（参加者）	<p>保護者の方からの意見（反応）は何かありましたか。また、保育園がなくなることによって更に産み育てる環境が悪くなり、人口が減少するのではないかと考えるが、どうか。</p>
A12（保育課長）	<p>松川保育園の保護者からの意見についてですが、兄弟がいる場合の入園について上の子は卒園できるが下の子は廃止になってしまうので卒園できず転園になってしまうということについて質問がありました。転園については、保護者の希望をお聞きしながら対応していきたいという話をさせていただいたところです。また、新規入園児の受け入れはいつまで行うのかという質問もありましたので、令和12年度まで今まで通り行う予定であるということを回答させていただきました。</p>
A12（子ども部長）	<p>産み育てる環境や人口減少については、市全体として、どのような子育て支援が必要か、ということを考えながら、例えば給食費の無償化等の支援により、一人でも多くの方に子育てしやすいと感じていただけるような環境を整備してまいりたいと考えています。</p>
5 その他 （保育課長）	<p>本日いただきましたご意見等については、後日市公式ホームページで公表する予定となります。また、9月1日から計画素案に対するパブリックコメントも実施予定となります。</p>

Q13（参加者）

今回の座談会について、思っていたよりも参加者が少ないが、周知はどのようにしたのか。

A13（保育課長）

広報なかの8月号、ライフビジョン、市内の子育て支援センター5施設へのポスター掲示、市内の私立保育所等への保護者への周知依頼・ポスター掲示を行ってきたところです。周知が足りなかった、ということであれば、今後に生かしていきたい。松川保育園の保護者については、事前に保護者説明会を現地とオンラインで行っていますので、本日の座談会への参加がなかったものを思われます。

6 閉会
（保育課長）
（終了時間）

午後0時05分